



## 留学生活動報告

### ナイジェリア連邦共和国から新留學生が来日しました！



学校でも友達ができました。充実した学校生活をスタート

もあり、早速チームの一員として活動を始めました。

日本語の授業では、文章の作り方やひらがな・カタカナの学習をしています。また、「日本の生活」という授業では、日本の生活マナーやルールを学んでいます。母国ナイジェリアとは異なる日本の文化に驚くこともありますが、先生方や日本人の生徒たちのサポートもあり、少しずつ毎日の生活に慣れてきています。

私たちもアビデミさんが安心して楽しく学校生活を送れるよう、全力でサポートしていきたいと思います。学業、生活、そしてバスケットボールの活動が盛り多い3年間となることを願っています。

4月25日、ナイジェリア連邦共和国から新しい留學生、アビデミ・オランレワジュ・ザイナブさんが来日しました。アビデミさんは星槎国際高校湘南の1年生として入学し、女子バスケットボールを専攻しています。これから3年間、学業と競技の両立に取り組んでいきます。

ナイジェリアからの留學生は今回が初めてであり、女子バスケットボール部としても留學生を迎え入れるのは初めてのことです。アビデミさんは、来日直後に春季大会の期間が開始したこと



初めてのスポーツテストに挑戦！



日本語の授業で先生と

### マリ共和国留學生アルマムさん、高校3年生に進級しました



春季大会でプレーするアルマムさん

マリ共和国からの留學生アルマム・サリフ・ダウンビアさんは、いよいよ最終学年、星槎国際高校湘南の3年生となりました。

これまで、日本語の授業を始め、多くの授業では先生とのマンツーマンでしたが、3年生になり、日本語もかなり上達したことから、湘南学習センターの通常授業への参加の機会を増やすことにしました。情報の授業ではパソコン操作やタイピング、エクセルを学ぶほか、スポーツ概論の授業も始まり、取り組んでいます。

相対的に日本語の授業数は減りますが、その分学習を充実させるため、私たち

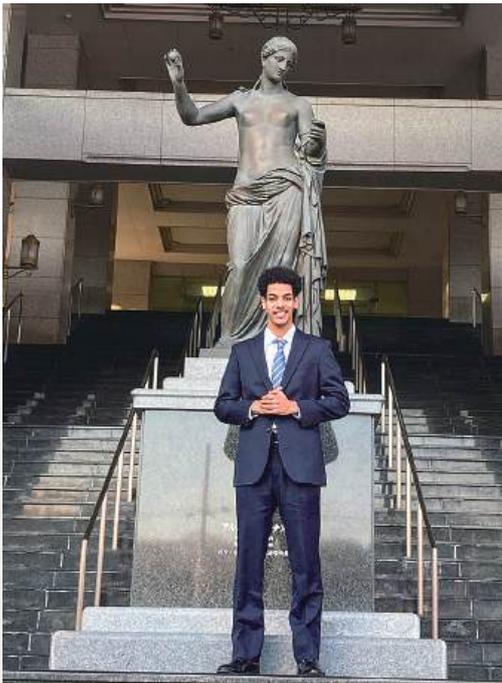
FGCのスタッフも授業のサポートにあたり、夏の日本語能力検定N3合格を目指します。

バスケットボール専攻での活動も、ひとつひとつが高校生活ラストのチャンスとなり、いっそう真剣に練習に励んでいます。神奈川県春季大会（関東大会神奈川県予選）では、準々決勝で惜しくも強豪校である湘南工科大学附属高校に敗れましたが、アルマムさんの活躍はめざましいものでした。アルマムさんは今後の大会へ向けて、さらなる練習に励んでいます。





## ナトナエルさんが星槎道都大学を卒業しました！



晴れやかな笑顔で記念撮影

ナトナエルさんはスポーツ奨学生としてエリトリアから6年前に来日し、星槎国際高校湘南を卒業後、北海道の星槎道都大学に進学しました。そして3月14日に晴れて卒業式を迎えました。けがの影響で思うように陸上競技に取り組めず、苦しい時期もありましたが、持ち前の明るさと勉強への熱意もあり、充実した大学生活を送ることができました。ナトナエルさんは卒業後も日本に残り、企業で働くことを目指して準備を進めています。これから社会に出るナトナエルさんの活躍が楽しみです。ナトナエルさん、ご卒業おめでとうございます！

### ナトナエルさんは星槎での6年間で振り返って以下のように語ってくれました。

卒業を迎えて、いろんな気持ちがあります。

卒業できてホッとしたし、新しいことが始まるワクワクもあります。でも、今までの学校生活が終わるのは少し寂しいです。

6年間は長かったけど、振り返るとあっという間でした。星槎はチャレンジできる環境がある学校でした。先生たちはとても親切で、いつもサポートしてくれました。また、一人ひとりの個性を大切にしてくれるので、自分らしく成長することができました。

高校や大学では、友達と過ごした時間はすべて特別でした。授業後にみんなで遊んだり、文化祭やイベントに参加したことが印象に残っています。大学では、自由な時間が増えたことで、新しいことに挑戦できたのが楽しかったです。

在学中に学んだことで、今後一番役に立つと思うことは「自分で考えて行動する力」です。学校の勉強も大事だけど、それ以上に、自分の意思で決めて動くことが人生において重要だと学びました。特に留学生活では、自立心が強くなったと思います。環境に適應する力と、あきらめない心が強くなりました。言葉や文化の違いがある中で、どうやって乗り越えるか考える力がつきました。大変なときでも、あきらめずにがんばることを学びました。

最後に、宮澤会長に心から感謝しています。このような貴重なチャンスをいただき、本当にありがとうございました。そして、今まで支えてくれたすべての方々に感謝しています。みなさんのサポートやアドバイスがなければ、私はここまで来られませんでした。

本当にありがとうございました。



高校時代のナトナエルさんと留学生仲間達



星槎道都大学の恩師の皆様と

## ダイモンさんが北海道インカレに出場しました



ナトナエルさんと同様にエリトリアから来日し、星槎国際高校湘南を経て、星槎道都大学陸上部で活動を続けているダイモンさんからも、元気な知らせが届きました。

5月に開催された第77回北海道陸上競技対抗選手権大会（北海道インカレ）に出場、残念ながら入賞には届かなかったものの、5,000m、1,500mともに決勝に進み、それぞれ11位、10位と健闘しました。

そしてダイモンさんもこの春から大学4年生となり、日本での長い学生生活も最後の年となりました。卒業に向けて学業も順調です。少しずつ次のステージに向けて準備も始めているダイモンさんを、今後もサポートしていきたいと思います。



北海道インカレに出場したダイモンさん

## 【大阪万博】 ブータン王国ナショナル・デーに出席しました



ブータン王国ナショナル・デーの様子

現在開催中の「大阪・関西万博」では、参加する158の国と地域が、1日ずつ割り当てられた「ナショナル・デー」において、それぞれの伝統や文化を紹介しています。5月2日に開催されたブータン王国のナショナル・デーには、同国よりナムギャル・ドルジ商工雇用大臣をはじめとする政府関係者が多数来日し、盛大な公式式典が行われました。

また、在日ブータン人コミュニティの方々や、ブータンに関心を寄せる多くの一般来場者が式典や文化イベントに参加し、温かい交流のひとつとなりました。世界子ども財団は、これまでに行ってきたブータン王国への教育支援やスポーツ交流などの協力関係が評価され、光栄にも公式式典にご招待をいただき、出席させていただきました。

当日は、色鮮やかな民族衣装をまとった舞踊団による伝統舞踊や音楽の披露があり、来場者を魅了しました。さらに、パビリオン内では、ブータンの自然や宗教、歴史、教育、幸福に関する哲学（GNH＝国民総幸福量）など、同国の多様な魅力を紹介する展示が行われ、大きな関心を集めていました。

今回のナショナル・デーへの出席を通じて、改めてブータン王国との友好関係の深さと、今後のさらなる交流・協力の可能性を実感することができました。世界子ども財団は、今後もブータン王国と日本をつなぐ架け橋として、教育や文化、スポーツを通じた国際協力活動を推進してまいります。



パビリオンでの展示も賑わいました

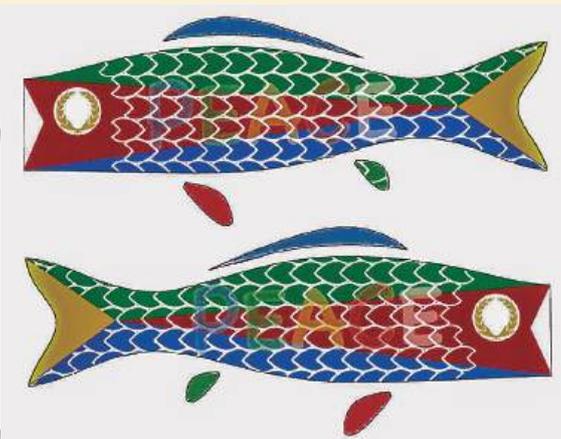
## 職員ケセテがデザインしたこいのぼりが東京ミッドタウンを彩りました！



自身がデザインしたこいのぼりと共に

4月25日から5月11日まで、東京ミッドタウンで開催された「MIDTOWN OPEN THE PARK 2025」の「こいのぼりギャラリー」で、世界子ども財団の職員ケセテ・ハブテシオンがデザインしたこいのぼりが飾られました。

「こいのぼりギャラリー」では「子どもの成長を願う」をテーマに、国内外のアーティスト、デザイナー、アート愛好家たち101名が手がけたオリジナルこいのぼりが、新緑のミッドタウン・ガーデンを美しく彩りました。エリトリア出身のケセテは、駐日エリトリア国大使館のご協力のもと、「エリトリアと平和」をテーマに、母国への想いを込めてデザインしました。



### 次世代を担う子どもに平和を願って

我々の子どもたちが平和の木陰を歩めるように、平和の種を蒔きましょう。彼らが戦争を見ることなく、その悲鳴を聞くことなく、恐怖ではなく笑顔の中で過ごせますように。私たちは平和の守護者として、憎しみではなく夢を、分断ではなく団結をはぐくまなければなりません。調和が夢物語ではなく現実となる、平和こそが彼らをそんな未来へと導いてくれるでしょう。

ケセテ・ハブテシオン・ベルハネ

## ミャンマー大地震緊急募金へのご協力 誠にありがとうございます



3月28日にミャンマー中部で発生したマグニチュード7.7の大地震では、震源地であるマンダレーや首都ネピドーを中心に多くの方が犠牲となり、甚大な被害をもたらしました。

ミャンマーはこれまで、世界子ども財団を通して医療支援を行ったり、留学生を迎えたりと星槎グループと関わりが深い国であることから、世界子ども財団では地震の発生直後より緊急募金活動を実施し、被災地支援のための支援金を受け付けてきました。

これまで、世界子ども財団あてに直接ご寄付をいただいたほか、星槎グループの各学校に設置いただいた募金箱にも、たくさんの方からご支援をいただいております。

ご協力をいただいた皆様、誠にありがとうございます。

皆さまからお寄せいただきました支援金は、今後集計の後、現地にお届けいたします。現在、ミャンマーの関係者と連携し、これまでも支援をしてきたネピドー郊外の孤児院に、復興と子どもたちの生活や教育支援のために届ける計画をしております。

支援内容については引き続きお知らせをさせていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



ミャンマー  
孤児院で学ぶ子どもたち

## 世界の子どもたちの未来づくりのために ご支援をよろしくお願いいたします

事務局より

世界子ども財団では、私たちと一緒に世界の子どもたちに手を差し伸べる「仲間」を募っております。

昨年度は441名の個人会員、90社・団体の法人会員・協力企業のみなさまに支えられ、活動を行ってまいりました。

子どもたちの未来をつくる活動に、ぜひご参加ください。

### ● 賛助会員

**個人会員** 年会費 6,000円 / 一口

**法人会員** 年会費 120,000円 / 一口

### ● ご寄付

金額を問わず、随時受け付けております。

### ● 寄付型自動販売機設置のお願い

現在、世界子ども財団では各飲料メーカーと提携し、「寄付型自動販売機」を積極的に展開しています。購入頂いた飲み物の売り上げの一部が当財団に寄付される仕組みとなっており、子どもたちの未来へと繋がっています。

自動販売機の設置費用や管理運営等はございません。少しでも興味のある方、設置しても良いという方、是非ともご連絡をお待ちしております。

詳しくは、世界子ども財団のホームページ、またはお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。



2025年7月発行

公益財団法人  
世界子ども財団

〒259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷1805-2 (星槎グループ内)  
TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp  
ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界子ども財団」で検索!  
制作: 岡村直実 (JC ユニット)

